

第27回 埼玉県理学療法士学会  
自主企画シンポジウム

# 運動器疾患の症例報告

---

埼玉県理学療法士会  
学術局理学療法編集部 部員  
村田健児

# 症例報告の質・信頼性は決して低くはない

エビデンスレベル

信頼性

偶然性

1 システマティックレビュー  
ランダム化比較試験のメタアナリシス

2 ランダム化比較試験

3 非ランダム化比較試験

4a 分析疫学的研究（コホート研究）

4b 分析疫学的研究（症例対照研究、横断研究）

5 症例報告（比較群なしの観察研究）

6 患者データに基づかない意見

質・信頼性は低い？

# 症例報告の役割とは？

患者名	A	B	C	D	...
年齢	a'	b'	c'	d'	
疾患	X	X	X	X	...
治療	x'	x'	x'	x'	...

**症例報告**

**分析疫学的研究**

**個別性と共通性**

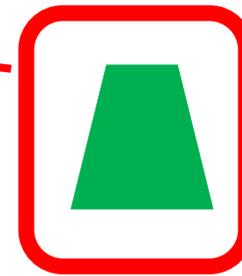
# 運動器 症例報告の意義

- 極めて珍しい症例を認めたとき  
(過去の報告が稀)
- 比較的珍しい症状や所見が二つないしそれ以上が同一患者に認められたとき

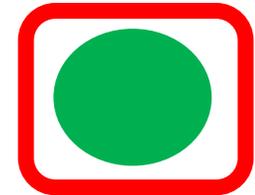
- 新たな治療法で患者が改善についての報告
- 新たな分析手段での将来的な患者像把握についての報告

- 日常の臨床、治療体系の形成

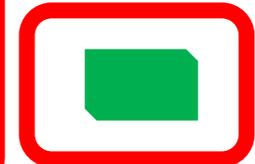
個別性



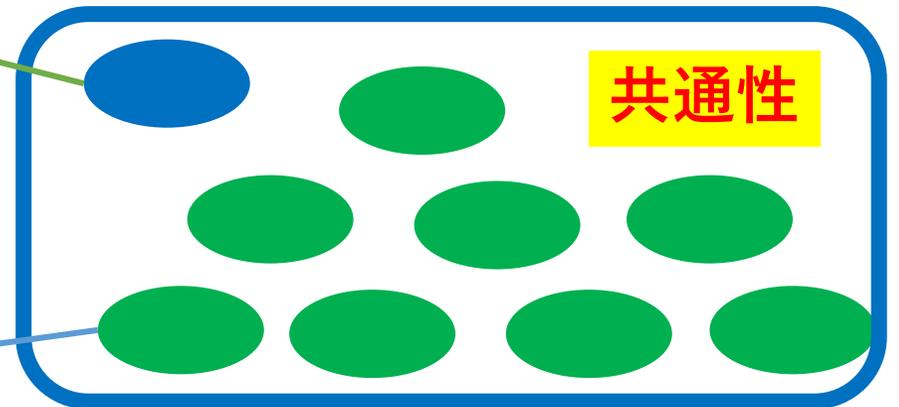
個別性



個別性



共通性



# ベンチマーキングとしての症例報告

症例報告はベンチマーキングの一種  
新しいことでなくても良い

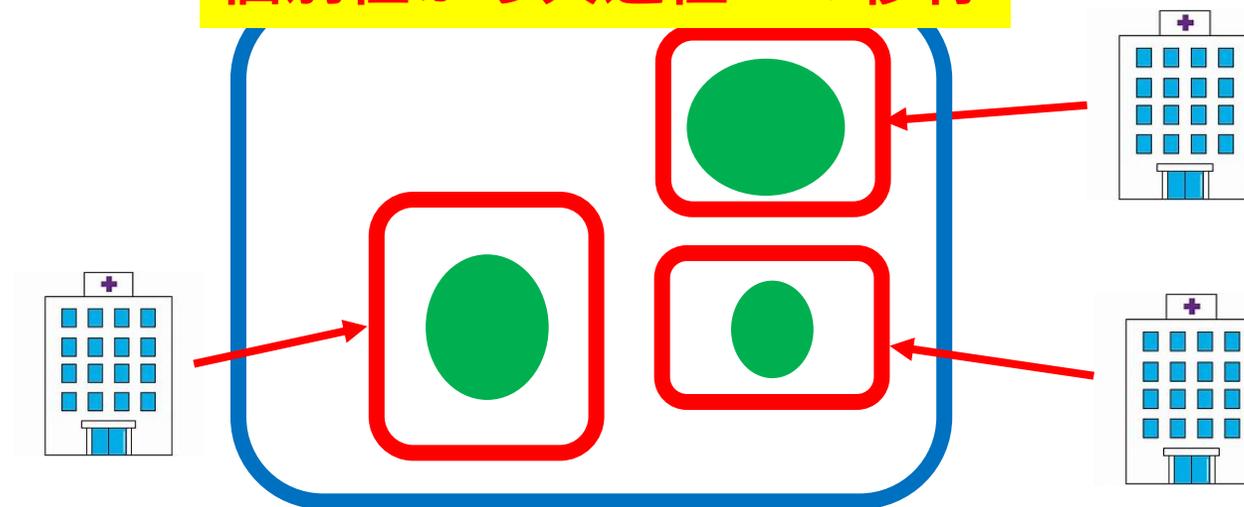
自分自身を外在化させることで、  
他の医療従事者から評価から  
臨床の質を高めることができる



新規性は重要ではない

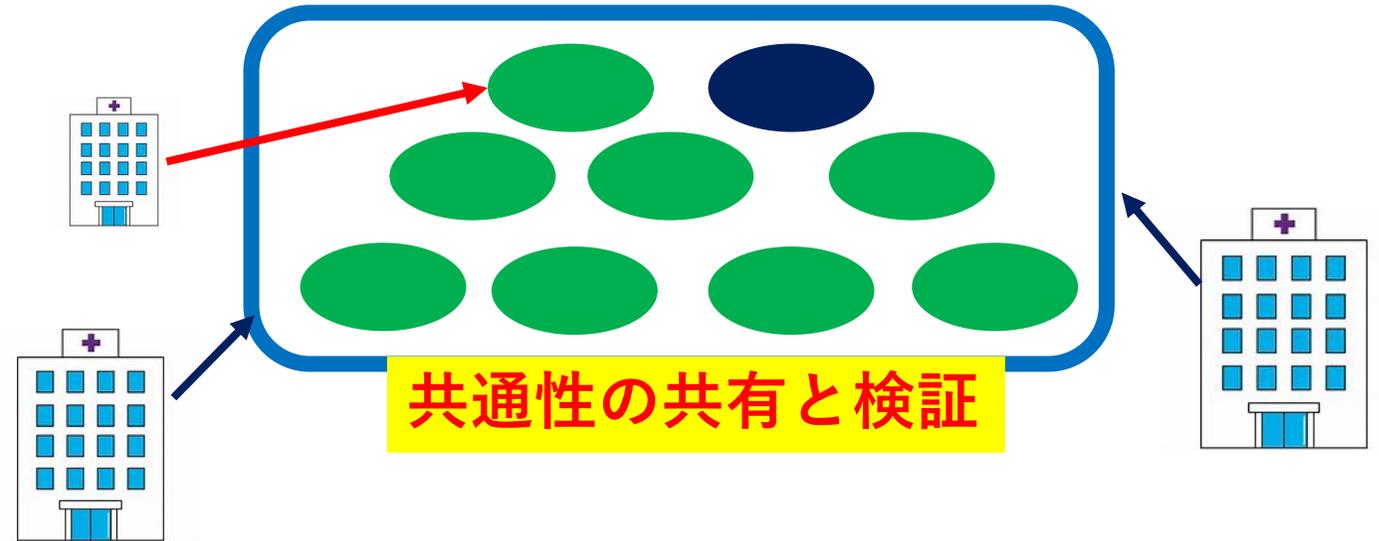
1例報告が多数の集約データとなることで  
導かれたアウトカムをもとにEvidenceとして提示されるもの

個別性から共通性への移行



# ベンチマーキングとしての分析疫学研究

自分自身だけではなく、疾患の経過を外在化させることで、その回復過程が一般的であるのか他の医療従事者から評価されるべき



ある疾患について数十例まとめた理学療法効果について  
共通性の報告が必要ではないか？

# 査読のポイント

- **極めて珍しい症例**を認めたとき  
(過去の報告が稀)
- 比較的**珍しい症状や所見が二つないしそれ以上が同一患者**に認められたとき
- **新たな治療法**で患者が改善についての報告
- **新たな分析手段（研究内容として）**での将来的な患者像把握についての報告
- **日常の臨床、治療体系の形成化**

稀であるという症状を科学的根拠を持って証明できているか？

治療法に科学的根拠や背景があるか？

その分析手法かつ対象患者の特徴に新規性があるか？

ベンチマーキングとして

# 運動器疾患の症例報告

- 症例報告は決して信頼性が低いわけではなく  
エビデンスを形成するための重要な情報源となり得る
- 症例報告は極めて珍しい症例、新たな治療法、新たな分析手段  
というように“新しい”“稀”でないといけなわけではない
- 1例報告が多数の集約データとなることで  
導かれたアウトカムをもとにEvidenceとして提示される
- 症例報告をベンチマーキングと捉えて  
自分自身を外在化させ臨床の質を高める

# 運動器疾患の研究報告・症例報告の ご投稿をお待ちしております